



山崎 欣一さん
(大浦・80歳)

「和の心」で人付き合いを

★若いころの仕事は
七十五歳までワカメやコンブの養殖のほか、アワビやウニなどの漁をしていました。大変でしたが、やりがいがありました。
★今の楽しみは何ですか
老人クラブの例会などで、近所の友人と面白い話をして、大笑いすること。それと、にぎやかなことが好きなので、宴会などで歌に合わせて踊ることです。

★頑張っていることは
去年入った老人クラブの活動です。小物や絵手紙を作ったり健康づくりの講話を聞いたりして、いろいろと勉強になります。
★健康の秘けつは
晩酌で一合の酒を飲むことと、何事も苦にしないことかな...。
★好きな言葉は
「和の心」。人との付き合いには、これが一番大切です。
★最後に一言
一人でも多く老人クラブに入ってほしいです。そして一緒に活動を楽しんでいきたいです。

イラスト



沼崎信明(15) 三浦みお(3) 湊亜紀子(?) くらさつよし(4) 木戸脇るな(6) 坂本恵(13) 孤独の木ノ葉(11) 川端みゆ(?)
ちごに行った女(死)(11) 覆面ザリガニ(11) 堀合可那絵(9) 黒澤彩花(13) 昆武義(?) 湊俊樹(5) 鈴木理紗(14) 坂本裕香(11)
スマイル(?) 阿部真由子(14) おのはるな(4) 殺生丸様ラブ(?) 佐藤直紀(11) 佐藤貴大(6) 佐々木じゅんこ(8) 佐々木真子(10)
キャンディー(?) 山内菜緒(9) 山内芽依(6) 佐藤美奈子(8)

みんなのスペース



ぬまざき ともやくん
(織笠保育園・5歳)

ぼくのゆめ

大きくなったら生き物博士になりたいな。大好きな恐竜のこともたくさんしらべるんだ。

投書

どんなことでも結構です。どしどしお寄せください。

救急患者の病状案じて

山田病院の近くに住んでいるので、朝な夕なに救急車のサイレン音を聞きます。その中で、再びサイレンを鳴らして病院から引き返していくのを聞くと、「あー、宮古病院行きか。何ともなければよいがなあ」と、そのたびに心から案じます。昨年、家族の者が夜中に救急車で宮古病院に運ばれてお世話になったので、なおさら案じられます。朝はやく病む人ありて救急車

何処の人ぞわが胸いたむ
美智子(八幡町・?歳)

電気のありがたき実感

先月の大雪はすごかったですね。何をしても電気が必要な時代ですが、電気のありがたきをつくづく感じました。
停電になったので、ペットボトルにお湯を入れて電気毛布代わりに母の腰や足に置いて使いました。どうにか、ぜんそくの発作も起こさずに済みました。役場の方もいろいろと大変でした。ご苦労さまです。

雪の落下に気を付けて

屋根から固まった雪が落ちてきます。通学路も危ない所がありますので、気を付けましょう。
匿名希望(境田町・80歳)

入学児を持つ親の心境

町内の各保育施設の年長児が晴れの入学日を秒読みにし、保護者らの期待は大きいと思います。これまで保育施設で培われてきたことを小学校でどれほど表現できるのか、期待と不安で

子供たちの事故防止を

入学と同時に子供たちの行動範囲が広がります。車に気を付けるよう、各家庭で子供たちに声を掛けてほしいと思います。なぜかという、幼児の交通事故が宮古署管内で発生しており、さらに友達と自由に行動する機会が多くなるからです。みんな、児童生徒の交通事故防止に努めたいものです。
西館隆(船越・?歳)

雪下ろしの援助にお礼

先月の大雪の時、玄関は開けられず、雪の重みで家がつぶれるかと思いました。そこに七分

団の団員の方や近所の人たちが来て、屋根の雪を下ろしてくれました。皆さんの援助がありがたく、お礼を申し上げます。
甲斐谷セチ(八幡町・88歳)
福寿草万作咲いて雪も降る
佐藤菊實(荒川・74歳)
豆煮えて春の香鼻をくすぐれる
古藤野強(豊間根・78歳)
憂きことは笑いとばして
湯の宿に集ふ農家の嫗ら逞し
みえこ(大沢・81歳)
地球は一つ寒さ暑さ
そして嵐にも左右されない
大河の流れのように悠々と大海

あなたも紙面に登場を

六十五歳以上の高齢者の皆さんに登場していただく「元気なじいちゃん・ばあちゃん」コーナーを新しく企画しました。「フレッシュユマン・ウーマン」と交互に紹介していきますので、取材に協力いただける方は役場情報課(☎八二一三一一)内線三一一)までご連絡ください。また、「ぼく(わたし)のゆめ」コーナーに登場していただく六歳以下の子供たちもお待ちしています。